



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月24日

上場会社名 株式会社 富士通ゼネラル

上場取引所 東

コード番号 6755 URL <https://www.fujitsu-general.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斎藤悦郎

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR室長 (氏名) 加納俊男

TEL 044-861-7627

四半期報告書提出予定日 2019年8月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	62,379	6.2	2,548	7.0	2,894	△29.9	1,944	△32.7
2019年3月期第1四半期	58,760	△8.9	2,382	△64.8	4,128	△44.2	2,887	△48.1

(注)包括利益 2020年3月期第1四半期 728百万円 (△61.2%) 2019年3月期第1四半期 1,879百万円 (△70.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	18.59	—
2019年3月期第1四半期	27.60	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	219,391	112,439	49.6
2019年3月期	215,784	113,122	50.7

(参考)自己資本 2020年3月期第1四半期 108,760百万円 2019年3月期 109,487百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	133,000	8.1	5,000	7.8	5,000	△26.0	3,500	△23.6	33.45
通期	285,000	12.8	17,500	20.0	17,500	24.0	12,000	34.9	114.69

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	109,277,299 株	2019年3月期	109,277,299 株
2020年3月期1Q	4,650,526 株	2019年3月期	4,650,371 株
2020年3月期1Q	104,626,826 株	2019年3月期1Q	104,627,155 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）におきましては、電子デバイスは減収となりましたが、空調機および情報通信システムの売上が増加し、連結売上高は623億7千9百万円（前年同期比6.2%増）となりました。

損益につきましては、空調機において、先行投資のほか販売促進のための費用増などがありましたが、増収効果に加え、コストダウンを進めたことなどから、営業利益は25億4千8百万円（同7.0%増）となりました。経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期に比べ為替差益が大きく減少したことから、それぞれ28億9千4百万円（同29.9%減）、19億4千4百万円（同32.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### <空調機部門>

空調機部門では、前年度から引き続き現地在庫の削減を進めている中東、アジア向けなどの販売は減少しましたが、欧州、米州向けなどの販売が伸長するとともに、前年度に実施したM&Aによる連結化効果も加わり、売上高は583億6千3百万円（同7.7%増）となりました。営業利益は、先行投資のほか、国内における商戦早期化や海外での消化促進のための販売促進費の増加などがありましたが、増収効果に加え、コストダウンを進めたことなどから、26億8千5百万円（同18.2%増）となりました。

#### [海外向け]

売上高は、402億1千2百万円（同8.3%増）となりました。

米州では、北米において、ルームエアコン、VRF（ビル用マルチエアコン）ともに需要が堅調に拡大し、販売が増加するとともに、米国で主流の全館空調方式エアコンも、販路拡大やラインアップの拡充などの取り組みにより販売が伸長し、売上が増加しました。

欧州では、猛暑の影響によりフランスを中心にルームエアコンの販売が伸長するとともに、フランスにおける環境負荷の低減を目的とした補助金政策によりATW（ヒートポンプ式温水暖房システム）の販売が好調に推移しました。さらに、イタリアの販売代理店の連結化効果もあり、地域全体の売上が増加しました。なお、欧州での業務用空調機事業の拡大に向けて、現地企業との共同開発により、当社製エアコンとエアハンドリングユニットを組み合わせた空調システムを、本年6月より販売開始しました。

中東・アフリカでは、市況の変化を踏まえ前年度から進めている現地在庫の削減に注力したことから、売上が減少しました。なお、現地在庫の消化は概ね計画どおり進んでおり、下半期からの出荷回復を見込んでおります。

オセアニアでは、ニュージーランドにおいて市場減速の影響を受けましたが、空調エンジニアリング会社の連結化効果により、売上が増加しました。

アジアでは、主力市場のインドにおいて現地在庫の削減に注力したことから、売上が減少しました。

中華圏では、中国において、景気減速の影響によりルームエアコンの販売が前年同期を下回るとともに、台湾での天候不順等の影響もあり、売上が減少しました。

#### [国内向け]

売上高は、181億5千1百万円（同6.3%増）となりました。

本格AI機能を搭載した最上位機種への投入や、当社独自の「熱交換器加熱除菌」機能を普及機種まで搭載するなど商品力強化を図り、期初の堅調な需要にも支えられ、量販店ルートでの販売が増加するとともに、住宅設備ルートの販売も堅調に推移し、売上が増加しました。

#### <情報通信・電子デバイス部門>

情報通信・電子デバイス部門では、情報通信システムの販売は増加しましたが、電子デバイスの販売減などにより、売上高は35億8千9百万円（同12.9%減）、営業損益は3億円の損失（前年同期は6千6百万円の損失）となりました。

#### [情報通信システム]

売上高は、13億4千5百万円（前年同期比18.7%増）となりました。

公共システムにおいて、受注済みシステムの納入が順調に進展し、売上が増加しました。なお、商談案件の増加を背景に、新規受注も堅調に推移しております。

〔電子デバイス〕

売上高は、22億4千3百万円（同24.9%減）となりました。

車載用カメラの販売は前年同期並みとなりましたが、産業用ロボット向けを中心とした電子部品・ユニット製造において、米中貿易摩擦の影響等による設備投資の減速により、売上が減少しました。

<その他部門>

売上高は4億2千6百万円（同1.8%減）、営業利益は1億6千3百万円（同8.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末（以下、当第1四半期末）の総資産につきましては、受取手形及び売掛金などの減少はありましたが、たな卸資産ならびに研究開発施設「イノベーション&コミュニケーションセンター」の建設等による固定資産の増加等により、前連結会計年度末比（以下、前年度末比）36億7百万円増加し、2,193億9千1百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金などの減少はありましたが、設備投資および払戻費用の増加に伴う未払金などの増加により、前年度末比42億9千万円増加し、1,069億5千2百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などによる増加はありましたが、為替換算調整勘定などの減少により前年度末比6億8千2百万円減少し、1,124億3千9百万円となりました。

この結果、当第1四半期末の自己資本比率は1.1%減少し、49.6%（前連結会計年度末は50.7%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間（以下、当期間）の営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、たな卸資産の増加等による運転資本の増加はありましたが、税金等調整前四半期純利益の計上および減価償却費を源泉とした収入等により、3千4百万円の収入（前年同期は55億8千6百万円の支出）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、開発・生産設備、ITシステムへの投資等により41億5百万円の支出（同17億8千3百万円の支出）となりました。この結果、当期間のフリー・キャッシュ・フローは40億7千1百万円の赤字（同73億6千9百万円の赤字）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、金融機関からの資金調達による収入はありましたが、配当金の支払等により、4億円の支出（同17億3千7百万円の支出）となりました。

この結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物残高は、前年度末比47億4千8百万円減少し、306億6千4百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、市況が低迷している中国向けなどのエアコンや電子デバイスの販売が計画を下回る一方、好調に推移している欧州向けエアコンや情報通信システムなどの販売上積みにより、売上高は前回予想どおりとなる見込みです。

損益につきましては、為替の変動が予想されるものの、売上が計画どおり推移していることやコストダウンの進展などから、前回予想どおりとなる見込みです。

なお、通期の連結業績予想につきましては、今後の各地域の景気や各国の通商政策の動向ならびに天候、素材・部品価格の動向や為替相場などの先行きが不透明ではありますが、欧州、北米などにおけるエアコンの販売拡大や下半期からの出荷回復に向けた中東向けエアコンの消化促進に加え、コストダウン等の施策が概ね計画どおり進展していることから、前回予想を据え置くことといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	35,412	30,664
受取手形及び売掛金	79,706	71,498
商品及び製品	18,887	28,350
仕掛品	1,822	1,906
原材料及び貯蔵品	5,993	6,335
その他	10,238	11,137
貸倒引当金	△331	△332
流動資産合計	151,729	149,559
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	27,619	28,586
機械装置及び運搬具	35,594	34,946
工具、器具及び備品	23,345	22,756
土地	9,093	9,093
建設仮勘定	2,457	5,869
減価償却累計額	△59,567	△59,575
有形固定資産合計	38,543	41,677
無形固定資産		
のれん	4,212	4,013
その他	5,879	6,852
無形固定資産合計	10,092	10,865
投資その他の資産		
投資有価証券	6,654	6,516
繰延税金資産	7,928	8,816
その他	845	1,966
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	15,418	17,288
固定資産合計	64,054	69,831
資産合計	215,784	219,391

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,987	39,144
短期借入金	401	1,637
未払法人税等	801	1,445
未払費用	16,400	17,055
製品保証引当金	4,090	3,758
独禁法関連引当金	7,925	7,925
その他	11,383	15,468
流動負債合計	81,990	86,434
固定負債		
長期借入金	—	160
再評価に係る繰延税金負債	2,409	2,409
退職給付に係る負債	15,904	15,855
その他	2,357	2,092
固定負債合計	20,671	20,517
負債合計	102,661	106,952
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,089	18,089
資本剰余金	530	530
利益剰余金	92,290	92,874
自己株式	△5,044	△5,044
株主資本合計	105,865	106,449
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	859	697
繰延ヘッジ損益	—	3
土地再評価差額金	4,858	4,858
為替換算調整勘定	△1,869	△3,026
退職給付に係る調整累計額	△226	△221
その他の包括利益累計額合計	3,622	2,311
非支配株主持分	3,634	3,678
純資産合計	113,122	112,439
負債純資産合計	215,784	219,391

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	58,760	62,379
売上原価	44,135	45,156
売上総利益	14,625	17,223
販売費及び一般管理費	12,242	14,674
営業利益	2,382	2,548
営業外収益		
受取利息	15	14
受取配当金	63	70
持分法による投資利益	215	84
為替差益	1,473	152
その他	86	69
営業外収益合計	1,855	391
営業外費用		
支払利息	0	15
過料金	72	—
その他	36	31
営業外費用合計	109	46
経常利益	4,128	2,894
税金等調整前四半期純利益	4,128	2,894
法人税、住民税及び事業税	519	1,636
法人税等調整額	497	△876
法人税等合計	1,017	759
四半期純利益	3,111	2,134
非支配株主に帰属する四半期純利益	223	189
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,887	1,944



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	3,111	2,134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△133	△161
繰延ヘッジ損益	△4	3
為替換算調整勘定	△1,055	△1,280
退職給付に係る調整額	2	4
持分法適用会社に対する持分相当額	△40	27
その他の包括利益合計	△1,231	△1,405
四半期包括利益	1,879	728
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,691	633
非支配株主に係る四半期包括利益	188	94

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,128	2,894
減価償却費	1,308	1,389
のれん償却額	—	69
引当金の増減額 (△は減少)	△824	△299
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△21	△44
受取利息及び受取配当金	△79	△84
支払利息	0	15
売上債権の増減額 (△は増加)	4,501	5,993
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,575	△10,845
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,959	280
その他	△2,858	1,165
小計	△4,379	533
利息及び配当金の受取額	79	84
利息の支払額	△2	△17
法人税等の支払額	△1,282	△565
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,586	34
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,227	△1,322
その他	△555	△2,782
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,783	△4,105
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	1,242
長期借入れによる収入	—	160
配当金の支払額	△1,226	△1,329
その他	△510	△473
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,737	△400
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	△275
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△9,121	△4,748
現金及び現金同等物の期首残高	42,710	35,412
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,588	30,664

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	空調機	情報通信・ 電子デバイス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	54,203	4,122	58,326	433	58,760
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	138	138	76	215
計	54,203	4,261	58,465	510	58,976
セグメント利益又は損失(△)	2,271	△66	2,204	178	2,382

(注) 部門別の主要な製品等は次のとおりであります。

部 門	主 要 な 製 品、シ ス テ ム、サ ー ビ ス
空 調 機	エアコン、VRF(ビル用マルチエアコン)、ATW(ヒートポンプ式温水暖房システム)、空調関連商品
情 報 通 信 ・ 電 子 デ バ イ ス	消防システム、防災システム、POSシステム、映像システム、車載カメラ、電子部品、ユニット製品
そ の 他	家電製品のリサイクル 電磁波障害に関する測定及びコンサルティング等

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,204
「その他」の区分の利益	178
四半期連結損益計算書の営業利益	2,382

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	空調機	情報通信・ 電子デバイス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	58,363	3,589	61,953	426	62,379
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	131	131	75	207
計	58,363	3,721	62,084	501	62,586
セグメント利益又は損失(△)	2,685	△300	2,384	163	2,548

(注) 部門別の主要な製品等は次のとおりであります。

部 門	主要な製品、システム、サービス
空 調 機	エアコン、VRF（ビル用マルチエアコン）、ATW（ヒートポンプ式温水暖房システム）、空調関連商品
情 報 通 信 ・ 電 子 デ バ イ ス	消防システム、防災システム、POSシステム、映像システム、車載カメラ、電子部品、ユニット製品
そ の 他	家電製品のリサイクル 電磁波障害に関する測定及びコンサルティング等

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,384
「その他」の区分の利益	163
四半期連結損益計算書の営業利益	2,548